

小林脳神経外科病院に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2024年9月30日

「頸動脈ステント留置術におけるストレート形状バルーンガイディングカテーテルを総頸動脈に留置するためのマイクロバルーンを用いた誘導法」に関する臨床研究を実施しています

小林脳神経外科病院倫理委員会の審査による病院長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を下記の通り公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	2024-0002
研究課題名	頸動脈ステント留置術におけるストレート形状バルーンガイディングカテーテルを総頸動脈に留置するためのマイクロバルーンを用いた誘導法に関する後方視的研究
所属(診療科等)	脳神経外科
研究責任者(職名)	北村聡 (医長)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2028年9月30日
研究の意義、目的	本研究は、頸動脈ステント留置術における“Micro-balloon anchoring technique”の有効性を証明することを目的としています。本法は、頸動脈ステント留置術における虚血性合併症を予防する手段として有効な proximal protection のために必要なバルーンガイディングカテーテルを総頸動脈に留置する際に有効です。頸動脈ステント留置術においてより安全な手術方法の確立を目指しています。
対象となる患者さん	2023年10月1日から2028年9月30日の期間に小林脳神経外科病院において頸動脈狭窄症に対して“Micro-balloon anchoring technique”を用いて頸動脈ステント留置術を行った方または行う方
利用する診療記録／検体	年齢、性別、疾患名、臨床経過、大動脈弓の type、穿刺部位、既往歴、アレルギーの有無、腎機能を含む血液検査、術前後神経所見、頸動脈狭窄の狭窄率/プラーク性状、使用したデバイス、術前後画像、選択したステント

研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し, “Micro-balloon anchoring technique”を用いた頸動脈ステント留置術の有用性について検討します。
共同研究機関名	本研究は、小林脳神経外科病院のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名（所属・職名）：北村聡（脳神経外科・医長） 電話：026-241-6221

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。